

コース内にある歴史的風致形成建造物

※指定候補を含む

コースから見るることができる歴史的風致形成建造物です(番号は指定された順番です)。



居神社

永正17年(1520)創建の神社で、本殿は18世紀後半、幣殿と拝殿は明治12年(1879)に建築されました。祭神は伊勢宗瑞(北条早雲)と争った三浦義意です。



広瀬畳店

昭和2年(1927)に旧東海道沿いに建築された出桁造と切妻屋根鉄板葺きが特徴の住居兼店舗です。い草の爽やかで清々しい匂いが香ります。



18 三淵邸・甘村荘

最高裁判所初代長官に任命された三淵忠彦の別荘として昭和11年(1936)頃に建てられた数寄屋風建築の建物です。庭には、名前の由来となった蜜柑や夏蜜柑、檸檬などの果樹が植えられています。



古稀庵の庭園

明治40年(1907)に内閣総理大臣を務めた山縣有朋が70歳のときに建てた別邸です。現在は山縣自らが差配して築造した日本庭園のみが残っています。



9 皆春荘

内閣総理大臣を務めた清浦奎吾が明治40年(1907)頃に建てた別邸で、数寄屋風と書院風が融合した数寄屋書院風が特徴です。大正3年(1914)には古稀庵の別庵として編入しました。



5 松永記念館

昭和の電力界の中心的存在であった松永安左衛門(耳庵)が、古美術品を公開するために昭和34年(1959)に建設した施設です。施設内には、松永が晩年を過ごした「老樗荘」や茶室「景雨庵」など、見所が多い名園です。



宗福院 地藏堂

旧東海道沿いに位置し、箱根越えの無事を祈願する東海道の霊場として知られました。1月と8月の23・24日には板橋地藏尊大祭が行われ、参拝者で賑わいます。



10 旧内野醤油店

醤油醸造業を営んでいた内野家の居住部分を含んだ建造物群です。旧東海道に面する店舗部分は、明治36年(1903)建築の土蔵造風で、海鼠壁や袖壁など防火対策を講じていました。



15 TEA FACTORY 如春園(旧下田豆腐店)

煙突が特徴的な昭和初期に建築物です。以前は下田豆腐店として地域に親しまれていましたが、現在は紅茶工房兼喫茶店が営まれています。



薬膳喫茶KURA(旧朝倉邸)

昭和7年(1932)に左官屋の棟梁の自宅として建てられました。現在は、薬膳料理が食べられる喫茶店となっています。



津田家の蔵

明治3年(1870)に染物業者の蔵として建てられました。染物業としての歴史は古く、伊勢宗瑞(北条早雲)によって板橋に屋敷を与えられたと言われています。

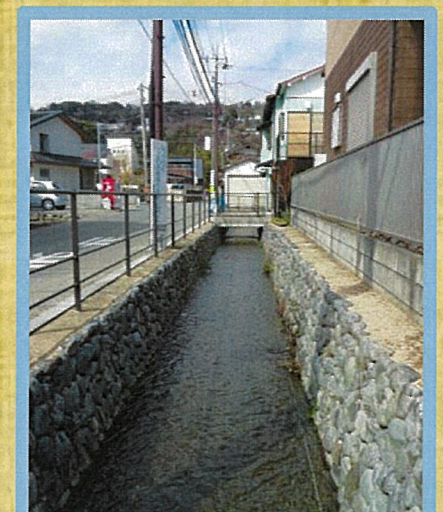
歴史を感じる場所

★香林寺



ビューポイント

View 小田原用水



戦国時代から大切に守られていた